

# 平成26年度事業計画書

「県民一人ひとりがきらめき、元気で活力ある住み良い社会の実現」に寄与するため、県民の自主的・主体的な県民活動を支援し、男女がともに協力し参画する社会の形成や、地域性豊かで多彩な文化芸術活動の振興などに資する事業を総合的に推進する

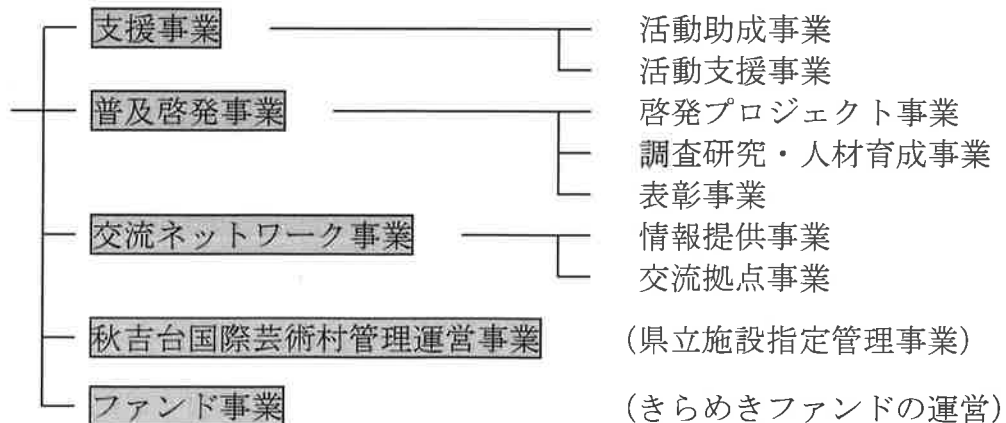
## 〔事業方針〕

「今後の財団運営の指針（25年3月）」に沿って、財団運営を本格的な軌道に乗せ、持続的な運営が可能となるよう、事業をより一体的、効率的に実施する

- 地域の公益財団としての役割に沿って事業を編成
- 財団の持続的運営（永続性の確保）に向け、財源見通しを踏まえて編成
- 分野間（県民活動、男女共同参画、文化振興）の総合的なバランスを確保
  - ▽ 県民活動団体の活動への支援や多様な主体との協働を促進し、地域全体で県民活動を支える体制づくり、風土づくりを推進
  - ▽ 男女共同参画社会に向けた啓発や男女共同参画の実現に資する活動に対する支援を行い、男女がともに参画する社会環境の整備を促進
  - ▽ 県内各地域の地域文化活動や郷土文化活動への支援を行い、地域文化の振興を図るとともに、文化施設の運営を通じて文化芸術活動を振興
- 財団設立の主旨に沿って事業水準を維持する中で、役割や環境の変化等に即して適切に事業をスクラップ&ビルド

## 〔事業内容〕

5本柱により事業を実施する



## 支援事業

### I 活動助成事業

#### 1 きらめき活動助成事業（予算額：16,750千円）

地域の助成財団の事業として、活動の段階やレベルに応じた2つのコースにより、幅広い分野の県民活動を効果的に支援する

##### 【育成支援コース】

##### ①スタートアップ助成事業

・団体の立ち上げや新たに取り組む活動に対する助成

##### ②ステップアップ助成事業

・活動のレベルアップや定着化、自立化を図る活動に対する助成

##### 【チャレンジプロジェクト支援コース】

##### ①県民活動助成事業

・地域の課題の解決に寄与する先駆的・モデル的活動に対する助成

##### ②男女共同参画助成事業

・男女共同参画社会の実現に向けて広域的に波及する活動に対する助成

##### ③文化活動助成事業

地域文化活動（芸術文化活動、文化交流、人材育成等の活動に対する助成）

郷土文化活動（郷土文化の普及・振興、保存・伝承の活動への助成）

##### 新「財団応援チャリティー事業」

・記念事業等に財団への応援寄付を織り込んだ事業に対する助成

##### 新「男女が共同して参画し文化が薫り県民活動が広がる助成事業」

・分野を超えて行うネットワークづくりの活動に対する助成

事業内容			予算額（千円）	
【育成支援コース】			5,000	
①スタートアップ助成事業	10万円	15団体	1,500	
②ステップアップ助成事業	20万円	10団体	3,500	
【チャレンジプロジェクト支援コース】			11,000	
③県民活動助成事業	50万円	7団体	3,500	
④男女共同参画助成事業	50万円	3団体	1,500	
⑤文化活動助成事業	地域文化	80万円	9団体	5,000
	郷土文化	30万円		
新財団応援チャリティー事業	50万円	1団体	500	
新男女が共同して参画し文化が薫り 県民活動が広がる助成事業	50万円	1団体	500	
計 2コース・7事業			16,000	

◇助成金説明会・助成金交付式の開催

## 2 ボランティア活動振興事業（予算額：8,386千円）

- ①企業等ボランティア活動支援事業
  - ・山口県社会福祉協議会が行う企業等社会貢献活動等の支援事業に対して助成
- ②ボランティア活動保険掛金補助事業
  - ・県民の自主的なボランティア活動を支援するため、全国社会福祉協議会が実施するボランティア活動保険の掛金の一部を補助（※定額補助に変更）
- ③青少年育成ボランティア活動振興事業
  - ・山口県青少年育成県民会議が行う青少年ボランティア養成、実践事業に対して助成

## II 活動支援事業

### 1 講師・アドバイザー派遣事業（予算額：1,660千円）

- 活動団体の要請に応じ、専門知識を有する講師やアドバイザーを派遣する
- ・講師・アドバイザー49名（各分野の学識経験者、活動実践者等）

共 通	組織運営、事業企画
男女共同参画	男女共同参画全般、DV・デートDV、仕事と生活
県民活動	県民活動全般、防災、スポーツ

- ・派遣回数60回程度

### 2 活動フォローアップ事業（予算額：1,400千円）

- 助成金交付団体が行う助成事業を訪問し、助成金が有効に活用され、当該事業が適切に実施されているかを確認するとともに、適切に助言を行う

**特** 助成金交付団体に関する「データベース」の整備

## 普及啓発事業

### I 啓発プロジェクト事業

#### 1 県民活動パワーアップ事業（予算額：4,000千円）

県民活動への理解と参加の促進を図るため、多様な主体の協働により実施する

◇県民活動促進期間キャンペーン

・県民活動促進期間（10月～11月）に、普及啓発のキャンペーンを実施

◇県民活動推進フォーラム

・県民参加による地域づくりの拡大と定着を図るフォーラムを開催

開催日等	平成26年10月（秋吉台国際芸術村）
実施主体	実行委員会（県、財団、市、団体等で構成）
実施内容	講演等（ <b>新</b> きらめき交流フェスタと合同開催）

◇やまぐち県民活動パワーアップ賞

・特に優れた活動を行う県民活動団体を顕彰（知事表彰及び活動助成）

#### 2 男女共同参画フォーラム開催事業（予算額：3,050千円）

男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進月間（10月）に開催する

開催日等	平成26年10月（防府市）
実施主体	実行委員会（県、財団、市、団体等で構成）
実施内容	講演、分科会、活動紹介、アトラクション等

#### 3 総合芸術文化祭推進事業（予算額：18,850千円）

「国民文化祭やまぐち」の成果を継承・発展させ、県民の自主的・主体的な文化芸術活動の成果を発表する場として、県下各地域で開催する（第8回）

実施主体	実行委員会（県、財団、県文化連盟等で構成）
部門別	◇美術部門 「県美展・HEART」（県立美術館 26年10月） 「萩まちなかアート」（萩美術館・浦上記念館 26年8月） ◇文芸・音楽部門 「詩と音楽のステージ」（周南市 26年11月）
分野別	◇音楽、文芸、生活文化等、多彩な分野の文化団体の発表の場 平成26年6月～12月（県内各地）

## II 調査研究・人材育成事業

### 1 講座開催事業（予算額：4,000千円）

広く意識啓発と人材育成を図るため、各分野の当面する社会的課題やニーズに即して、より実務的に開催する

男女共同参画	◇男女共同参画人財セミナー ・リーダー養成セミナー（テーマ；企画力、問題解決力等の実務能力）
	新男女共同参画実践セミナー ・調査研究委嘱事業の成果を委嘱団体自ら普及啓発するセミナー（テーマ；「男女共同参画の視点からみた防災活動」）
	◇配偶者暴力防止講座 ・ファシリテーター養成のステップアップ講座（昨年度の連続講座）
	◇デートDV教室 ・高校生、大学生等を対象とした講演・指導（25回程度）
県民	新県民活動実務セミナー ・県民活動推進のリーダー（県民活動推進委員）の実務研修
文化	◇文学講座 ・文学講座（「やまぐちの文学者」新規認定者に関する講座） ・やまぐちの文学おでかけ講座（8回程度）

### 2 研修派遣事業（予算額：500千円）

県内では受講機会のない全国規模の研修会等へ参加者を募集し、派遣する

- ・参加費、旅費、宿泊費等所要経費の一部を助成  
（国立女性教育会館、日本女性会議、地域活性化センター 等）

### 3 大学との連携協働事業（予算額：500千円）

大学との連携協働により、県民活動の活性化と人材育成、多様な主体による協働を促進する（山口県立大学「地域共生センター」を窓口）

#### ◇協働企画事業

- ・「中山間地域の課題解決」をテーマに、学生参加のフィールドワークを支援

#### ◇財団事業への参加

- ・財団の事業活動、県民活動の現場訪問、ボランティア活動の参加等

### 4 男女共同参画調査研究委嘱事業（予算額：500千円）

男女共同参画に関する社会的課題の解決に取り組む団体等に調査研究を委嘱し、その成果を県民に還元する

- ・委嘱のテーマ；女性の社会進出、仕事と家庭・地域生活の調和等
- ・財団との密接な連携（協議・報告）により実施し、成果は財団にも帰属

5 **新**女性の活躍推進事業（予算額：800千円）

多様な分野で能力を発揮し活躍する女性を育成するため、ロールモデルとなる女性を調査し、その結果を広く紹介する

- ◇ロールモデル報告書の作成
  - ・「男女共同参画推進事業者（県認定）」へのアンケート調査
  - ・好事例の事業所を取材し、報告書にとりまとめ（県内大学と協働）
- ◇パネルディスカッションの実施
  - ・広く事業者、学生、県民等を対象に県内2カ所で開催

6 文学回廊構想推進事業（予算額：500千円）

郷土ゆかりの文学者に関する情報発信を通じ、関心と理解を深める

- ◇「文学ツアー」の開催
- ◇「やまぐちの文学者たち」の普及啓発資料（タペストリー）の作製

### Ⅲ 表彰事業

1 表彰事業（予算額：400千円）

男女共同参画、文化の分野を含め、広く県民活動の振興に寄与した団体・個人を財団独自に表彰する

- ◇理事長表彰「県民活動きらめき賞」
  - ・団体15、個人10名程度（※きらめき交流フェスタの場で表彰）

## 交流ネットワーク事業

### I 情報提供事業

#### 1 情報誌発行事業（予算額：2,470千円）

男女共同参画や県民活動、文化に関する情報を掲載した情報誌「ピュアネット」を定期的に発行する（「企画運営委員会」による企画・編集）

- ・掲載内容；意識啓発、学習機会、イベントや団体の活動情報
- ・発行回数；年2回（9月、3月）
- ・発行部数；10,000部（市町、図書館、公民館、団体、施設等に配布）

#### 2 広報事業（予算額：1,800千円）

様々な広報ツールを活用して広く情報発信し、財団のイメージアップを進める

- ・財団ホームページ、リーフレット、「きらめきnews」等の作成
- ・マスコミ、市町、関係機関、活動団体、財団関係者等への情報提供を充実
- 財団のイメージアップにつながる新たなツールの制作

### II 交流拠点事業

#### 1 情報ライブラリー事業（予算額：400千円）

情報公開、学習機会の提供等、プラットホームとしての機能を充実する

◇ピュアネットライブラリー

- ・啓発用図書・ビデオ・DVDの収集・貸出（男女共同参画関係）

◇情報コーナーの充実（財団事務所）

#### 2 きらめき交流フェスタ開催事業（予算額：1,000千円）

“合併シンボル事業”として、幅広い分野の活動団体の交流の場を開催し、新たなネットワークと協働の仕組みづくりを促進する

開催日等	平成26年10月（秋吉台国際芸術村）
実施内容	■県民活動推進フォーラムとの合同開催 （「きらめきジョイントフェスタ」（仮称）） <ul style="list-style-type: none"><li>・活動団体による活動発表会</li><li>・活動団体の交流会</li><li>・活動紹介、パネル展示、財団PR等</li></ul>

#### 3 県立文化施設連携事業（予算額：500千円）

活性化と利用促進に向け、秋吉台国際芸術村とルネッサながとの連携を進める

◇事業の共同企画・広報

- ・古典芸能（人形浄瑠璃等）の公演、芸術村アーティストの発表、相互PR

◇「連携会議」の開催

## 秋吉台国際芸術村管理運営事業

県立施設の指定管理事業として適切に管理運営する中で、特に、次期指定管理（28年度～）の確保に向けて、利用促進対策を強化する  
《利用者数の推移・目標》

22年度	_____	48,745人
23年度	_____	47,578人
24年度	_____	49,045人
25年度	-----	50,500人
26年度	-----	<b>60,000人</b>

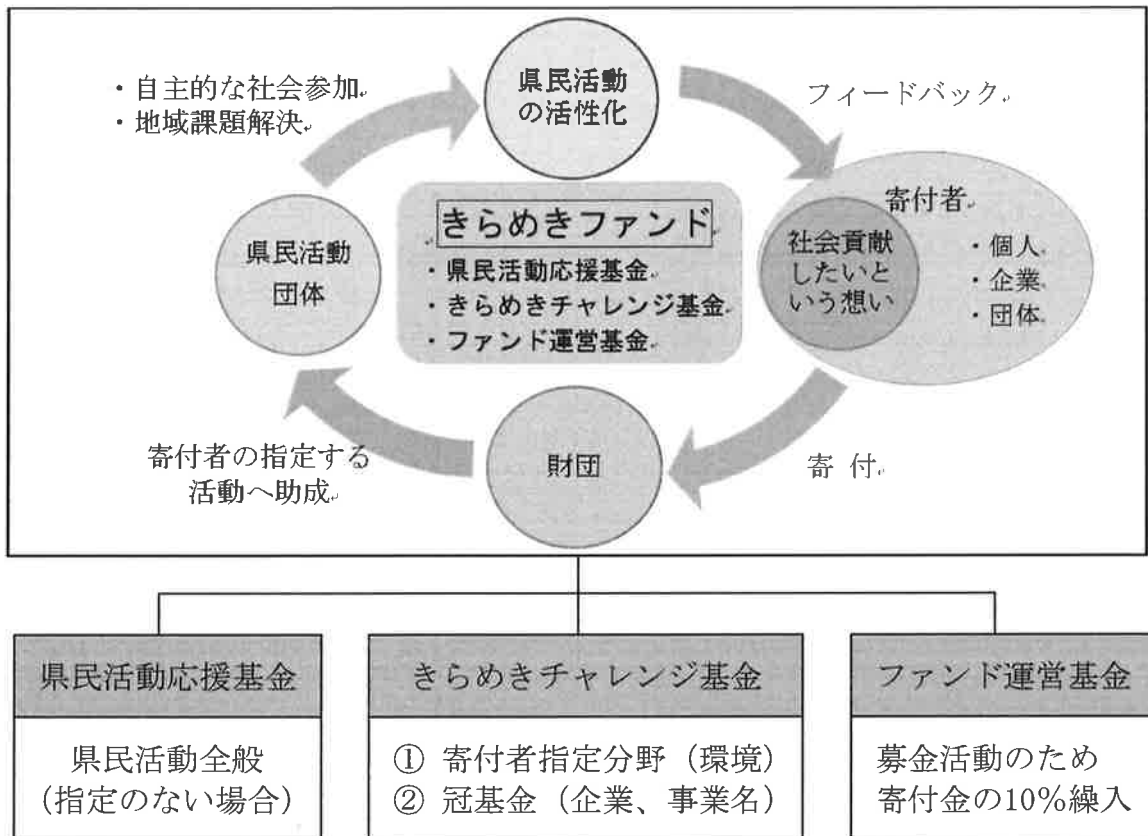
- 1 芸術家等育成事業（予算額：31,484千円）  
幅広い分野における国内外の若手アーティストの創作活動に対して支援を行う
  - ①やまぐちアーティスト支援事業  
新山口芸術短期大学との協同企画によるワークショップ&コンサート
  - ②セミナー&ワークショップ事業
  - ③アーティスト・イン・レジデンス事業  
新成果発表会「ワールドアーティスト展」の開催  
・滞在者創作活動の支援（フェロー・サポート活動）
  - ④コンクール事業（「第3回秋吉台音楽コンクール」）  
・室内楽とコントラバスの2部門で実施（広報、集客対策の強化）
- 2 県民文化芸術活動促進事業（予算額：14,342千円）  
県民が気軽に文化芸術にふれ、参加する機会を充実する中で、地元利用を促進する
  - ①鑑賞事業  
・芸術村ギャラリー（あーとルームとの統合によるワークショップの充実）
  - ②文化交流事業  
・アートフェスティバルの充実（美祢市民参加型）、「芸術村合唱団」発表会 等
  - ③教育機関・文化団体支援事業  
・美祢市文化祭の一部開催（美祢市文化協会との連携）
- 3 文化芸術活動支援者育成事業（予算額：134千円）  
フレンズネットの運営等、文化芸術活動の支援者の育成に努める
- 4 情報提供事業（予算額：4,720千円）  
芸術村の文化芸術活動の成果を広く発信するとともに、広報事業を充実
- 5 施設管理事業（予算額：134,188千円）  
宿泊棟、研修室、ギャラリー、レストランの利用促進など集客対策を一層強化する  
新広報キャンペーン（月間を設定し、企業・団体、学校等へ訪問誘致活動）
- 6 収益事業（予算額：1,403千円）  
自動販売機の設置による手数料、宿泊棟の一般利用による利用料を徴収する



## ファンド事業

- 1 きらめきファンド運営事業（予算額：600千円）  
財団の財務基盤の強化に向けて、寄付金の確保活動を強化する

- ①「きらめきファンド」の本格運用  
新新たなファンドレイジング



新多様な寄付金募集活動

- ・チャリティー活動（チャリティーゴルフ大会の開催）
- ・「応援広告」の募集

② 会員会費

新「会員制」の導入

- ・広く県民活動団体、企業・団体等から賛助会員（会費）を募集

2 新サンクス事業（予算額：200千円）

- 寄付金の使途、成果を広く紹介し、寄付者の理解を促進する
- ・活動団体による成果発表会を開催し、寄付者を招待